

ブータン王国3泊5日の旅

世界の旅行者から、「最後の秘境」、「シャングリラ」と評されるブータンは、ヒマラヤ山脈の東端にある仏教王国です。国土のほとんどを覆う山岳地帯には、手つかずの大自然が残されており、ブータンを訪れる人々を楽しませてくれます。また、近隣の仏教文化圏が近年のグローバルゼーションの中でその文化的特徴を失いつつあるのに比べ、ブータンには今なお中世の雰囲気を感じさせるオリジナルな仏教文化を色濃く残しています。

羽田 22:00 夜集合

1日目 羽田発 00:20 バンコク 04:50 経由でパロ 9:50 着後 パロゾン、国立博物館見学

昼食後ティンプーへ出発

ティンプー到着メモリアルチョルテン見学

17:30 タシチョゾン見学

夕食はホテルにて

<ティンプー泊>TAJI TASHI HOTEL DELUXE WITH SIT-OUT

2日目 ホテルにて朝食後ティンプーの観光 チャンガソク・ラカン、タキン放牧場、ブッパビューポイント

織物博物館、クラフトセンター等

昼食後プナカへ出発

夕食はホテルにて

<プナカ泊>HOTEL DAMCHEN RESORT

3日目 ホテルにて朝食後プナカゾン見学

その後チミ・ラカンへ出発

昼食後子宝の寺として有名なチミ・ラカンを見学

チミ・ラカン見学後パロへ出発 (ワディ・ポ・ダン・ゾンには先日火災で消失見学が不可)

途中ドチュラ峠にて休憩

パロ到着後時間が許す限りパロ市内散策

夕食はホテルにて

<パロ泊>UMA PARO RESORT DELUXE ROOM

4日目 08:40 ホテルにて朝食後パロ空港へ パロ発 11:10 バンコク 16:15 着

Louis Tavern Transit Hotel Dayroom で休憩 22:10 バンコク発

5日目 06:20 成田着







◆ パロゾン

「リンブン・ゾン」つまり「宝石の山の城」という名前を持つこのゾンは、パロの街を見下ろす場所に建てられています。15世紀にチベットから戻ってきた僧がこの場所に建立したのが始まりといわれるこのゾンは、後にシャブドゥン・ンガワン・ナムゲルによって拡大されました。現在の姿は20世紀初

◆ 国立博物館

もともとはすぐ下のパロ・ゾンを守る望楼（タ・ゾン）であったこの建物。非常に面白いつくりで円形の建物の上部から入り、展示物を見学しながら下へ下へと下りて行きます。

ブータン唯一の国立博物館だけあり、仏像やマンダラ、タンカから農具、動植物、金属細工、切手まで

<p>めに火事によって焼失した後に再建された姿。 ネパールのカトマンズにあるボダナートと共に映画「リトル・ブッダ」のロケ地となったことでも知られています。</p>	<p>と非常に豊富な展示物。 見学後、外に出ると眼下に雄大なパロ・ゾンの姿と美しいパロ谷の姿を望むことができます。</p>
	
<p>◆ メモリアルチョルテン 1974年に建立された3代目国王ジクミ・ドルジ・ウォンチェックの霊廟・追悼記念館で、ティンプーの丘の上にある 中には極彩色のヤブユム（歓喜仏）が所狭しと祀られており、見ていると頭がくらくらする。</p>	<p>◆ タチョヅン ブータンの首都ティンプーthimpu に建つ 1641年に建設された城砦。ブータン国王のオフィス、国会、ブータンの仏教の総本山として使用されていた（1986年当時）。</p>
	
<p>◆ プカゾン ボチュー（父川）とモチュー（母川）の合流点にある大きなゾンで、現在は寺院になっている。</p>	<p>◆ ドチュラ峠 ドチュラ峠はティンプーとプナカをつなぐ峠。この峠から眺めるブータン・ヒマラヤは絶景。</p>

***旅行代金：お一人様 348,000 円** 料金に含まれるもの 往復航空運賃エコミ、ホテル代 3泊デラックスクラス(プナカはスタンダードクラス)(1室2名利用)、食事 朝3回、昼3回、夜3回、現地の交通機関、ブータン政府公認日本語ガイド代、観光地の入場料、ブータン観光協会へ支払うロイヤリティ+諸税、ブータンビザ代 行及びビザ申請代行手数料、復路のバンコクホテル代

旅行取扱 旅日本株式会社 石井 伸二
東京都知事登録旅行業第 3-6456 号
東京都世田谷等々力 7-15-5
電話 090-3230-7555